

海外クルーズ客船おもてなし事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	港湾空港課		課長名	鳥山 公裕			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H28 年度 経過年数 9 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度			
事業実施方法	委託														
補助率															
福井県長期ビジョン における位置付け	分野	〔 3 楽しみを広げる 〕				関連する県の計画等		〔 〕							
[解決すべき問題・課題] 海外クルーズ客船を受け入れる地区が保安区域となるため、港湾管理者として必要な警備等を行う必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 国際埠頭施設を一般開放する場合、管理者は当該施設の保安水準を低下させないための措置を講ずる必要がある。 (国際港湾施設の保安対策に関するガイドライン(改定)12章3)									
[事業目的] 海外クルーズ客船の受け入れ態勢を整える															
[事業内容] クルーズ船寄港時対応 ・観光客の安全確保のため岸壁に警備員を配置し、バリケードを設置する。 ・一般観光客の受付業務を行う。															
[受益者] クルーズ船乗船客						[想定される受益者数] 2,500人									
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 (実績)		事業名			関連事業の有無・ 役割分担	□ 無 ■ 有 事業名 クルーズ船受入れに向けた航行安全調査 (役割分担) クルーズ船に対応した施設整備および客船受入れ体制検討のための、 航行安全調査の実施								
市町との連携状況						他県の状況	他県のクルーズ船対応 富山県 クルーズ船受け入れのための施設整備済 wifi設備整備済 警備員配置、バリケード設置 石川県 クルーズ船受け入れのための施設整備済 wifi設備整備済 警備員配置、バリケード設置								

海外クルーズ客船おもてなし事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	港湾空港課	課長名	鳥山 公裕	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H28 年度 経過年数 9 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	委託											
補助率												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	6,043				6,043							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	令和 6 年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		11,249	6,239	6,239	3,372	6,043	寄港予定回数の増 (R5年度1回→R6年度2回)					
2 月 現 計 予 算 額 の 推 移		0	0	3,120	3,372							
決算額の推移		0	0	2,759								
前年度までの 主な増減理由	寄港回数の増減											
[成果指標等の推移]												
区 分		2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	不法侵入件数	(目標)	(0)	(0)	(0)	(0)						
		実績	0	0	0	0						
活動指標	警備員配置人数	(目標)	(20)	(20)	(20)	(20)						
		実績	0	0	0	20						
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和 6 年度の変更点				事業評価				
成果指標を達成 不法侵入件数：0回								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

敦賀港モーダルシフト促進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	土木部	課名	港湾空港課	課長名	鳥山 公裕
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度 R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9 年度
事業実施方法	補助金										
補助率	1/2等										
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる] 政策 [9 100年に一度のまちづくり]				関連する県の計画等		[]				
[解決すべき問題・課題] 物流2024年問題への対応や脱炭素化の推進のための、陸上輸送から海上輸送への転換						[問題・課題を表す客観的データ] R12年度にはR元年度の貨物輸送量と比較して陸送輸送能力の34.1%が不足 R6年度にはR元年度の貨物輸送量と比較して陸送輸送能力の14.2%が不足					
[事業目的] トラックドライバーの時間外労働時間の上限規制の適用により陸送能力が不足する「物流2024年問題」への対応や、脱炭素化の推進を図るため、環境負荷が小さい海上輸送へのモーダルシフトを促進し、敦賀港の集荷・利用拡大を図る。											
[事業内容] ○内貿航路（コンテナ船・RORO船・フェリー）貨物に対する助成 ・新規で内貿航路を利用する荷主企業・物流事業者に対し、転換経費（海上運賃、国内陸上輸送費、国内荷役料等）の1/2を支援（上限500千円） ・継続で内貿航路を利用する荷主企業・物流事業者に対し、貨物量を前年度より一定以上増加させた場合、増加した貨物量×1千円/台・TEUを支援（上限1,000千円） ・継続で内貿航路を運航している船社に対し、貨物量を前年度より一定以上増加させる場合、増加した貨物量×4円/台・TEUを支援（上限500千円） ○国際フィーダー貨物に対する助成 ・新規で国際フィーダー航路を利用する荷主企業に対し、転換経費（海上運賃、国内陸上輸送費、国内荷役料等）の1/2を支援（上限1,000千円） ・当該年度に国際フィーダー貨物を年間50TEU以上利用する荷主企業に対し、（貨物量(TEU) - 50TEU）×5千円/TEUを支援（上限2,000千円（1,000TEU以上の場合5,000千円）） ・取引先荷主企業から新規に国際フィーダー貨物を一定以上集荷した物流事業者に対し、貨物量(TEU) ×10千円/TEUを支援（上限1,000千円）											
[受益者] 荷主企業・物流事業者・船社						[想定される受益者数] 補助事業者68社					
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 敦賀港内航利用拡大事業 (実績) 新規で内貿航路を利用する荷主企業・物流事業者に対し、転換経費（海上運賃、国内陸上輸送費、国内荷役料等）の1/2を支援（上限200千円） R3実績：15社（補助枠20社） R4実績：19社（補助枠20社） R5実績：25社（補助枠30社）					関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 敦賀港グリーン物流推進事業 (役割分担) 外貿コンテナ貨物を対象に実施（成長産業立地課）			
市町との連携状況						他県の状況		伏木富山港（外貿） 博多港（内貿・外貿） 鹿児島港（外貿） 秋田港（外貿）			

敦賀港モーダルシフト促進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	土木部	課名	港湾空港課	課長名	鳥山 公裕	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9 年度
事業実施方法	補助金											
補助率	1/2等											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	16,750	6,700			10,050	電源立地地域対策交付金						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移						16,750						
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	取扱貨物量（万トン） (目標) 実績					(30)	(60)	(120)	・事業実施により増加を目指す貨物量（万トン）			
活動指標	補助件数 (目標) 実績					(68)			・トライアル支援事業：34件（内賃：30件、フィーダー：4件） ・利用拡大支援事業：27件（内賃：25件、フィーダー2件） ・集荷促進事業：7件（内賃：5件、フィーダー：2件）			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
								□ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額	
								□ 継続	□ 休止	□ 完了		
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他		

福井空港利活用推進事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	港湾空港課		課長名	鳥山 公裕
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	補助金、直営			経過年数								
補助率	1/2等			2 年								
福井県長期ビジョン における位置付け	分野	〔 3 楽しみを広げる 〕			関連する県の計画等		〔 〕					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 多様な形態の航空機による空港の利活用 ・ 空港ビルの老朽化、駐機スポットや格納庫用地の不足 						<ul style="list-style-type: none"> ・ R1年度（コロナ禍前）着陸回数の51.8%がグライダー ・ 空港ビル：S41年竣工、築57年経過 						
[事業目的]												
福井空港の商業利用への挑戦やプライベート利用の促進を行うとともに、地域に親しまれる空港の実現に向けた取り組みを進め、利活用を推進していくとともに、利活用の状況を踏まえ、新空港ビルに関する検討を進め、福井空港再整備構想（案）をまとめていく												
[事業内容]												
<p>○空の交通拠点化推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 航空機運航促進事業（航空機の回送経費・運航経費を支援） ・ プライベート利用促進事業（全国の航空関連事業者への営業活動、日本ビジネス航空協会でのPR等） <p>○福井空港の利活用に向けた地元機運醸成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「福井空港で遊ぼう」（小型機・グライダー体験搭乗、フライトシミュレーター操作体験、各種イベント等）の実施 ・ 未婚・新婚ペア向けの小型ジェット機・ヘリの遊覧飛行の実施 <p>○福井空港再整備構想（案）作成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 空港再整備構想（案）の作成、再整備構想検討協議会の運営、再整備に向けた地元住民向け懇談会の開催 												
[受益者] 福井空港を利用する事業者、県民						[想定される受益者数] 補助事業利用者6社、「福井空港で遊ぼう」来場者1,000人、遊覧飛行搭乗ペア24組						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 小型ジェット機による福井空港利活用促進事業 (実績) 【前年度の実績（令和3～4年度）】 ・ ビジネスでの活用：1回 ・ 婚活での活用：12回					関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況						

福井空港利活用推進事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	港湾空港課		課長名	鳥山 公裕	
事業主体	県				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業区分 <input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業開始年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	補助金、直営												
補助率	1/2等												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等						
予算額	41,506			(諸) 120	41,386								
[予算額の推移等]												(単位：千円)	
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移					19,933	41,506	福井空港再整備構想(案)の作成にかかる経費の増						
2月現計予算額の推移					19,933								
決算額の推移													
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	事業実施による着陸回数 (目標) 実績				(76) 76	(91)	(91)	(91)	航空機運航促進事業：6回、プライベート機等：35回、小型機・グライダー体験搭乗：32回、未婚・新婚ペア向け遊覧飛行：18回				
活動指標	補助件数・営業活動回数 (目標) 実績				(3) 1	(30)	(91)	(30)					
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
事業実施による着陸回数が76回あり、成果指標を達成した。 【内訳】 ・小型ジェット機による福井空港利活用促進事業補助：1回 ・プライベート機等：34回 ・小型機・グライダー体験搭乗：23回 ・未婚ペア向け遊覧飛行：18回					航空機利用者への補助制度拡充、福井空港再整備構想(案)作成にかかる経費増による増額				<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
									<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
									<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

クルーズ船受入れに向けた航行安全調査

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	港湾空港課		課長名	鳥山 公裕
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R6 年度
事業実施方法	委託											
補助率												
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [3 楽しみを広げる] 政策 [9 100年に一度のまちづくり]				関連する県の計画等		[敦賀港港湾計画]					
[解決すべき問題・課題] 敦賀港におけるクルーズ船の受入に適した受入箇所の確保						[問題・課題を表す客観的データ] これまでクルーズ船の受入を実施してきた鞠山北地区は、石炭貨物の集積や、市街地から遠いといった課題がある						
[事業目的] 景観がよく市街地から近い鞠山南地区や金ヶ崎地区でのクルーズ船の受入れにより、寄港回数の増加を目指す												
[事業内容] クルーズ船に対応した施設整備および客船受入れ体制検討のための、航行安全調査の実施 ＜対象岸壁＞ ・敦賀港鞠山南岸壁 ・敦賀港金ヶ崎岸壁												
[受益者] クルーズ船乗船客						[想定される受益者数] 2,500人						
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (実績) 事業名				関連事業の有無・役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 海外クルーズ客船おもてなし事業 (役割分担) 海外クルーズ客船の寄港時における保安区域警備や港周辺でのおもてなしの実施				
市町との連携状況						他県の状況		他県のクルーズ船対応 富山県 クルーズ船受け入れのための施設整備済 wifi設備整備済 警備員配置、バリケード設置 石川県 クルーズ船受け入れのための施設整備済 wifi設備整備済 警備員配置、バリケード設置				

クルーズ船受入れに向けた航行安全調査

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	港湾空港課	課長名	鳥山 公裕				
事業主体	県				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業開始年度	R6 年度	事業終了予定年度 (見直し年度)	R6 年度	
事業実施方法	委託											R6 年度			経過年数
補助率												1 年			
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等								
予算額	50,000	25,000			25,000		訪日外国人旅行者周遊促進事業費補助金								
[予算額の推移等] (単位：千円)															
区分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移						50,000									
2月現計予算額の推移															
決算額の推移															
前年度までの 主な増減理由															
[成果指標等の推移]															
区分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	クルーズ船の新たな受入 岸壁数	(目標)					(2)	(2)	令和7年度から、従前とは異なる岸壁(鞠山南、金ヶ崎)におけるクルーズ船の受入を開始						
活動指標	航行安全調査の実施	(目標)					(2)	(2)	(2)	航行安全調査の実施：2カ所(鞠山南、金ヶ崎)					
実績															
[事業の評価]															
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価							
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了					
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					

敦賀港鞠山南地区水素関連施設整備事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	港湾空港課		課長名	鳥山 公裕
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R6 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R10 年度
事業実施方法	委託									経過年数		
補助率										1 年		
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる] 政策 [9 100年に一度のまちづくり]				関連する県の計画等		[敦賀港港湾脱炭素化推進計画 (R6年度中に策定予定)]					
[解決すべき問題・課題] 敦賀港における温室効果ガス排出量の削減						[問題・課題を表す客観的データ] 敦賀港内の温室効果ガス排出量：約2,500t (H25年度)						
[事業目的] 敦賀港内における脱炭素化に向けた取り組みをリードしていくことを目的として、鞠山南地区で新たに整備するガントリークレーン使用にかかる電力を水素電源で賄う												
[事業内容] ガントリークレーン使用にかかる電力を水素電源で賄うため、鞠山南地区において自立型水素電源（燃料電池、水素タンク等）を整備 令和6年度：燃料電池および水素タンク等の施設整備のための詳細設計を実施 令和7年度～10年度：施設整備 令和8年度～：一部施設で実証開始（新ガントリークレーンに電気供給開始）												
[受益者] 荷主企業、物流事業者、船社等						[想定される受益者数] 約300社						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 水素電源導入に関する事業可能性調査（エネルギー課） （実績） エネルギー課で水素電源導入に関する事業可能性調査（FS調査）を実施（R5年6月補正予算）				関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （役割分担）					
市町との連携状況					他県の状況							

敦賀港鞠山南地区水素関連施設整備事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	港湾空港課	課長名	鳥山 公裕		
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務		事業区分	■ 実行予算		事業終了 予定年度 (見直し年 度)		
事業実施方法	委託					□ 法定受託事務			□ 補助金			R6 年度	R10 年度
補助率									□ その他			事業開始 年度 経過年数 1 年	
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	51,000	51,000				エネルギー構造高度化・転換理解促進事業費補助金							
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移						51,000							
2月現計予算額の推移													
決算額の推移													
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	水素電源によるガントリークレーン稼働電力割合 (%) (目標) 実績					-	(40)	(40)	水素電源によるガントリークレーン稼働電力割合 (詳細設計で改めて設定)				
活動指標	事業進捗率 (%) (目標) 実績					(5)	(100)	(100)	(当該年度までの事業費) / (全体事業費)				
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価					
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

敦賀港鞠山南地区 2 期工事

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	港湾空港課		課長名	鳥山 公裕	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H27 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R10 年度	
事業実施方法	直営									経過年数			10 年
補助率													
福井県長期ビジョン における位置付け	分野	〔 3 楽しみを広げる 〕			関連する県の計画等		〔 〕						
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]							
敦賀港のふ頭用地不足の解消						<ul style="list-style-type: none"> ・ 内航フェリー、内航ROROの貨物量の拡大(147万tの増加→3.3ha必要) ・ 新規企業の利用(木質チップ)による貨物量の増加(25万 t →3.5ha必要) 							
[事業目的]													
敦賀港のふ頭用地不足を解消し、港湾機能の強化を図る													
[事業内容]													
<p>鞠山南地区多目的国際ターミナルにおいて、ふ頭用地を整備</p> <p>(整備内容) ふ頭用地造成 10.2ha (県事業)</p> <p>(参 考) - 14m岸壁 L=280m (直轄事業) - 9m岸壁 L=200m (直轄事業)</p>													
[受益者] 荷主企業、物流事業者、船社等						[想定される受益者数] 約300社							
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)						
市町との連携状況						他県の状況	伏木富山港 - 14m岸壁 金沢港 - 13m岸壁 舞鶴港 - 14m岸壁						

敦賀港鞠山南地区 2 期工事

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	港湾空港課	課長名	鳥山 公裕		
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H27 年度	事業終了予定年度 (見直し年度)	R10 年度	
事業実施方法	直営									経過年数			10 年
補助率													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	574,520		574,000		520	公営企業債							
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	令和 6 年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移	848,000	1,151,160	1,333,480	461,100	574,520	工事工程計画に併せて増							
2 月 現 計 予 算 額 の 推 移	805,000	1,091,000	1,133,000	480,000									
決 算 額 の 推 移	634,421	530,046	1,531,129										
前年度までの 主な増減理由	工事工程計画に併せた増減												
[成果指標等の推移]													
区 分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	ふ頭用地供用面積 (ha) (目標)	(0)	(0)	(0)	(5.5)	(5.5)	(10.2)	(10.2)	令和 10 年度完成を目標に整備				
	実績	0	0	0	5.5								
活動指標	事業進捗率 (%) (目標)	(36)	(45)	(55)	(58)	(62)	(100)	(100)	(当該年度までの事業費) / (全体事業費)				
	実績	36	45	54	58								
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和 6 年度の変更点				事業評価					
成果指標を達成 ・ふ頭用地の埋立および舗装、護岸の整備を実施 ・令和 5 年 11 月にふ頭用地 5.5ha を供用開始				工事工程計画に併せて整備を実施				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

敦賀港新多目的クレーン整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	港湾空港課		課長名	鳥山 公裕			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度			
事業実施方法	直営														
補助率															
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる] 政策 [9 100年に一度のまちづくり]				関連する県の計画等		[]								
[解決すべき問題・課題] 平成3年の供用開始から30年が経過し、クレーン全体の腐食や老朽化が進んでおり、今後多額の修繕費が必要となってくる						[問題・課題を表す客観的データ] 老朽化しており、修繕費が増加 H30：104,600千円、R元：123,400千円、R2：40,000千円、R3：10,000千円 R4.6クレーンが故障し荷役に支障が発生									
[事業目的] クレーンに多額の修繕費用が必要となる前に更新を行うとともに、現多目的クレーンとの2基体制によりバックアップ体制を確保する															
[事業内容] 新多目的クレーンの整備 ・基本設計 ・詳細設計・受電設備等設計 ・製作・据付															
[受益者] 荷主企業、物流事業者、船社等						[想定される受益者数] 約300社									
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)								
市町との連携状況						他県の状況	金沢港 ガントリークレーン (平成17年、30年) 新潟港 ガントリークレーン (平成20年)								

敦賀港新多目的クレーン整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	港湾空港課	課長名	鳥山 公裕	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R3 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	直営											
補助率												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	1,008,000		1,008,000			公営企業債						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	令和 6 年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移			10,600	13,780	590,000	1,008,000	工事工程計画に併せて増					
2 月 現 計 予 算 額 の 推 移			10,600	13,780	550,000							
決算額の推移			10,288	13,594								
前年度までの 主な増減理由	工事工程計画に併せて増減											
[成果指標等の推移]												
区 分		2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	新規供用クレーン基数 (目標)		(0)	(0)	(0)	(0)	(1)	(1)	令和 7 年度供用開始を目標に整備			
	実績		0	0	0							
活動指標	事業進捗率 (%) (目標)		(1)	(2)	(27)	(76)	(100)	(100)	(当該年度までの事業費) / (全体事業費)			
	実績		1	2	27							
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和 6 年度の変更点				事業評価				
工事請負契約を締結、クレーン本体製作に着手し、活動指標を達成した。				工事工程計画に併せて整備を実施				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

敦賀港鞠山南地区 ガントリークレーン整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	港湾空港課		課長名	鳥山 公裕			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度			
事業実施方法	直営														
補助率															
福井県長期ビジョン における位置付け	分野	〔 3 楽しみを広げる 〕			関連する県の計画等		〔 敦賀港湾計画 〕								
[解決すべき問題・課題] 新規航路開設等による貨物量の増加 バックアップ体制の確立						[問題・課題を表す客観的データ] 目標：88,000TEU→現状：25,760TEU (R4実績) クレーンの復旧まで約13ヶ月を要し、その間バルク貨物の荷役時間は通常約1.5倍									
[事業目的] 港湾計画で定めるコンテナ貨物量や船舶規模に対する荷役体制を整える。															
[事業内容] ガントリークレーンの整備 ・ 詳細設計・受電設備等設計 ・ 製作・据付															
[受益者] 荷主企業、物流事業者、船社等						[想定される受益者数] 約300社									
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 (実績)		事業名		関連事業の有無・ 役割分担		■ 無 □ 有 (役割分担)					事業名			
市町との連携状況					他県の状況		金沢港 ガントリークレーン (平成17年、30年) 新潟港 ガントリークレーン (平成20年)								

敦賀港鞠山南地区 ガントリークレーン整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	港湾空港課	課長名	鳥山 公裕	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務		事業区分	■ 実行予算		事業終了予定年度 (見直し年度)	
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金			R5 年度 経過年数 2 年
補助率									□ その他			
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	510,000		510,000			公営企業債						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移					31,800	510,000	クレーン本体の製作開始による増					
2月現計予算額の推移					31,800							
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	新規供用クレーン基数 (目標) 実績				(0) 0	(0)	(1)	(1)	令和9年度供用開始を目標に整備 (当該年度までの事業費) / (全体事業費)			
活動指標	事業進捗率 (%) (目標) 実績				(2) 2	(30)	(100)	(100)				
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
詳細設計を実施し、活動指標を達成した。				工事工程計画に併せてクレーン本体製作に着手				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		